

本庄市水道施設見学資料



令和4年7月作成

水道施設視察コース

○都島浄水場

①滅菌室

→

②着水井



③自家発電機室

→

④制御室



⑤配水ポンプ室



○都島浄水場概要



1. 都島浄水場について

都島浄水場は、当時の本庄市基本構想に公共下水道の普及やいまい台産業団地の造成計画などの計画が盛り込まれたことから、平成4年に第四期拡張事業として、事業認可を取得し、平成7年度に供用開始を行いました。

この施設は、4つの井戸をもつ浄水施設となっており、地下約150mの深井戸から取水した地下水に消毒薬である次亜塩素酸ナトリウムを注入して、水道水として主に本庄地域へ配水しています。

2. 配水量について

都島浄水場は、令和2年度の実績として7,600m³/日の水道水を配水しています。

3. 施設の特徴

配水池には8,000m³の水道水を溜める能力があり、地震などの災害が発生し水道管が壊れても、配水池から応急給水活動に使用する給水車へ直接給水することができます。

また、応急給水会場として活動ができるよう蛇口が備わっています。

4. 施設案内 都島浄水場

○所 在：都島772-1番地

○竣 工：平成7年度（1995年度）

○主な施設

・配水池（プレストレスコンクリート造）×1池
（有効容量8,000m³）

・配水ポンプ×3台（株）クボタ製
（φ300×10.40m³/分×H65.0m×170.0kw）

・自家発電設備×1機 三菱重工（株）製
定格出力：1,250KVA（1,000kw）／ 定格電圧：6,600V ／ 周波数：50Hz

○取水施設：本庄第15号井、本庄第16号井、本庄第17号井、
本庄第19号井の4箇所を有しています。

○取水施設箇所図

